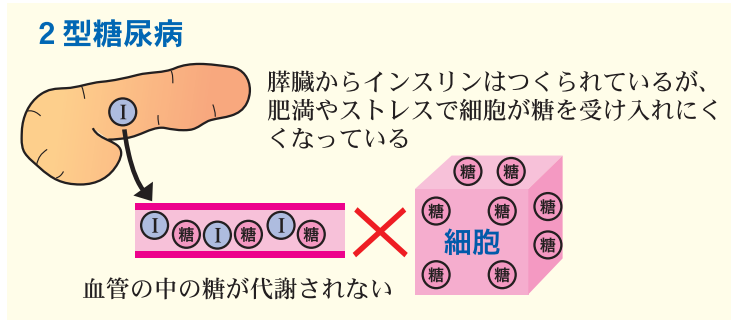


# ご存知ですか？糖尿病と歯周病は相互に影響しています

## 糖尿病と合併症

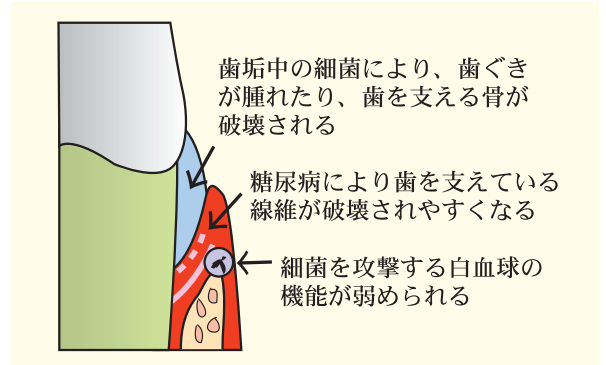
膵臓から分泌されるインスリンの働きにより、糖は細胞に取り込まれてエネルギー源として活用されます。しかし、血液中に糖がたまったままの状態になることがあり、糖尿病と呼ばれます。

生活習慣と関係がある **2型糖尿病** は肥満やストレスが原因で、細胞のインスリンを受け入れる部分（受容体）の働きが悪くなってしまいます。脂肪組織から出される物質によっても、インスリン受容体の働きが悪くなってしまいます。細胞にエネルギーがゆきわたらなくなると、様々な合併症がおきます。代表的なものは網膜症、動脈硬化、腎臓病ですが、**歯周病も糖尿病の合併症と考えられています。**



## 糖尿病が歯周病に及ぼす影響

歯周病は歯と歯ぐきの境目に残った歯垢中の細菌が原因で、歯ぐきが腫れたり歯を支えている線維や骨が破壊されたりする病気です。糖尿病によって歯ぐきの線維が壊されやすくなったり、細菌から体を守る白血球の働きが弱められることにより、**健康な人より歯周病の進行が早まったり、歯周病の治療をしても再発しやすくなったりします。**



## 歯周病が糖尿病に及ぼす影響

一方、歯周病が存在すると、炎症と関連した物質が歯ぐきの血管から全身に出て行きます。炎症と関連する物質の中には、インスリン受容体の働きを阻害するものもあります。きちんと糖尿病の治療をしても、思ったほど血糖値が改善していかない場合には、**歯周病の治療を行うことにより、血糖値が改善することもあります。**

歯周病が疑われる、または未治療の場合には、歯科医院を受診することをお勧めします。

